

品川区シルバー人材センター
平成 26 年度事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会 長 戸 川 五 郎

1. 事業実施状況

概 況

公益社団法人として、今年度最大の課題である会員の増強と、就業を希望するすべての会員に仕事を提供できるよう、民間からの発注拡大に向け、新たな就業開拓に取り組むとともに、お客様の信頼を確保し安定した受託が可能となるよう親切丁寧な対応を心がけました。

また、会員の事故防止を図るため、安全管理委員会の活性化や地区委員会との合同会議を開催し事故防止に努めるとともに、法人運営については経費の節減に努め、安定した経営の確保と住みつづけたい地域社会を創造する地域の一員として活動いたしました。

平成 26 年度は、会員数の減少、公共部門からの受注は横ばい、適正就業の指導による大手スーパー契約減や民間の大口契約者事業廃止など、センターにとって逆風が吹き荒れ大変厳しい年でありました。

このような状況の中で、シルバー人材センターの役割はどうあるべきか、また、区民の期待に応え、地域に貢献できるセンターとして如何に発展させていくかを念頭に取り組んできたところです。

以上申し上げた大きな観点を踏まえて、平成 26 年度の事業実績について報告いたします。

まず、平成 26 年度は前述したように大変厳しい年になりましたが、昨年実績を何とか確保することを最大目標に掲げ「シルバー人材活用ガイド」や「会員募集・仕事募集パンフレット」の全戸配布や区の広報・CATV に会員募集コマーシャルを放映するなど、会員の増に向けてメディアを利用した P R 活動の強化をいたしました。また、大口契約減などに対応して民間からの受注で補おうと努力してまいりましたが、契約件数こそ 423 件増加したものの、残念ながら契約額は昨年実績を 800 万円下回る結果となってしまいました。

しかしながら、これまでの厳しい状況の中で結果的にこのような実績を残せたことは評価に値する数字ではないかと考えています。

最終的な今年度の実績といたしましては、会員数 2,575 名（対前年 39 名減）、年間受託件数 17,354 件（423 件増）、年間受注額 12 億 7,900 万円（800 万円減）と言う決算状況でございます。

引き続き、会員の皆様の御協力と区民の皆様の御理解をお願いするものであります。

次に、平成 26 年度も、就業中および就業途上の事故防止を目指して、年間を通じた就業現場の巡回指導や予防体操の講習会、ヒヤリ・ハットアンケートの実施などの取り組みを継続いたしました。傷害事故 26 件、賠償事故 8 件発生してしま

いました。

安全就業は何よりも優先すべき課題であることから、今後とも安全管理委員会活動の充実と地区委員会との合同会議の開催など、法人組織を挙げて精力的に事故防止に取り組んでまいります。

特に就業現場への安全巡回点検指導、自転車の事故防止、歩行中の転倒事故の防止の3点を重点項目として取り組む決意です。

最後に平成26年度は、中期計画の3年目に当たります。本計画で定めた目標に対し、会員数の増、年間契約額の増を目指して種々取り組んでまいりましたが先程のような結果になりました。今後も、センター運営の理念である「自主・自立」と「共働・共助」に基づき、一層の活動の活発化に向け取り組んでまいりますので会員の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

I. 事業目標・事業実績について

シルバー人材センターを取り巻く環境は依然として厳しい年度となり、事業開拓チラシやシルバー人材活用ガイドの配布および各種のメディアを活用した会員募集と仕事の募集を積極的に行いました。平成26年度の受託件数は当初の事業目標を達成することができたものの、会員数が目標の2,700名に125名届きませんでした。また就業実人員も、目標2,300名に対し99名およびませんでした。

区 分	当 初 事 業 目 標	事 業 実 績		
		実 数	目 標 と の 比 較	前 年 度 比 較
会員数	2,700 名	2,575 名 (男性1,488 名、女性1,087 名)	△ 125 名 (4.6%減)	△ 39 名 (1.5%減)
受託件数	年 間 16,500 件	17,354 件	854 件 (5.2%増)	423 件 (2.5%増)
契約金額	年 間 12 億 8,000 万円	1,279,644,484 円	△ 355,516 円 (3.0%減)	△ 8,386,661 円 (0.7%減)
		内 公 共 425,423,488 円	/	1,586,159 円 (0.4%増)
		訳 民 間 854,220,996 円		△ 9,972,820 円 (1.2%減)
就業延 日人員	年 間 30 万 4 千人	311,625 日人	7,625 日人 (2.5%増)	△ 12,845 日人 (4.0%減)
就業実 人 員	年 間 2,300 人	年 間 2,201 人	△ 99 人 (4.3%減)	△ 72 人 (3.2%減)

Ⅱ. 公益目的事業について

事業1 就業機会提供事業

1. 就業機会確保事業について

週1回・1回2時間等といった、小さな仕事も積極的に受注し、少しでも多くの会員さんへ就業機会が提供できるように努めました。

(1) 受託事業について

引き合いや受注した仕事については、スピーディーに顧客と連絡をとり、内容の詳細を調整し、会員へ提供した結果、今年度の受託件数は前年度を423件上回ることが出来ました。

(2) シルバー保険・サポしながわについて

ア. 平成26年度の事故状況

シルバー保険の対象となった事故は、傷害事故が26件（内訳は就業中が11件、往復途上が15件）、賠償事故は8件でした。

イ. サポしながわ（無料職業紹介所）との連携について

サポしながわ（無料職業紹介所）と連携し、合同就職面接会・出張求職登録会と入会出張相談を協同で開催し、会員増などの成果を得ました。

(3) 就業開拓組織活動について

地域班・地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や未就業会員の解消、新規の就業開拓に積極的に取り組み、「共働」「共助」のシルバー人材センター事業の理念に基づいて、以下の取り組みを実施しました。

地区全体会の開催 各地区 年2回

地区全体会の際、シルバー人材センターのポスター（仕事募集・会員募集等）を作成し、出席者の会員へ身近なところへの掲出依頼をして、多くのポスターが品川区内に掲出されシルバーの宣伝に大いに役立ちました。

地区委員長連絡会の開催 年12回

新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催し、新入会員へ地区委員長の紹介等を行いました。また、つまみ食いウォークの道案内会員等の募集依頼をし、地区から就業会員を推薦してもらい就業に結びつけました。

地区委員会の開催 随時

地区全体会開催や会報シルバーしながわの配送にあわせ適宜、地区委員会を開催しました。

(4) いきいきプラザ事業について

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として開設から 20 年を迎えました。引き続き、封入作業や検品作業などの内職作業を積極的に受注しました。皆さん元気にいきいきと内職作業に励みました。

2. 就業機会拡大推進事業について

就業開拓専門員が、区内の不動産業者へ約 800 通のダイレクトメールを送付、また、区内全域でポスティングを行い中小マンションの清掃や技能系職種の就業機会拡大を図り、問い合わせがあればすぐに打ち合わせに伺いスピードをもって就業に結びつける努力をしました。

区内、約 10 万 8 千世帯に『シルバー人材活用ガイド』を配布し、就業機会やセンターの果たしている役割の PR を図りました。『活用ガイド』は、今年度で区内全世帯に配布が完了しました。

3. おさらい教室について

低所得世帯の子ども向けの学習教室事業を、区の補助を受けて、低廉な授業料で実施しました。平成 26 年度は小学 3～6 年生を対象とし各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力向上を目指しました。

○小 3～小 6 各学年 1 クラス 生徒総数 21 名

事業 2 普及啓発事業

1. チラシなど多様な媒体で PR を実施

PR チラシを新入会員約 205 名に 6 万 1 千枚、1 年を通して区内一般家庭への配布依頼をしました。会員の中にはチラシを配る事は初めて体験したという会員もおり「ドキドキした。でも、始めると夢中で思ったよりも早く終わらせる事ができた。うれしかった。」といった意見や自分の家の近所や、少し遠い場所へも配布に挑戦してもらった結果、新規のお客様の獲得に多大な効果をあげることができました。

また、区広報には年 5 回会員募集のお知らせを掲載して頂き多数の新入会員の獲得に繋げることができました。

2. イベントへの参加

4・10 月「みどりと花のフェスティバル」10 月「武蔵小山商栄会一番祭り」11 月「大商業まつり」・2 月「品川区消費生活展」などのイベントに地域の一員

として参加しました。また、今年度は区民まつり（品川第1、八潮地区）に出店しました。包丁研ぎ延べ562本、PRグッズ3,700個を配付しシルバー人材センターの事業PR・会員募集に努めました。

3. ボランティア活動

10月7日（火）中延在宅サービスセンターへ恒例となったボランティア慰問を会員17名の参加で実施しました。会員による手品の披露やアコーディオン伴奏で荏原音楽倶楽部との共演により懐かしい歌を施設の皆さんと一緒に歌い、充実した時間を過ごすことが出来ました。

4. シルバーしながわ・事務局だより

(1) シルバーしながわ

写真を多用しわかりやすい紙面づくりを心がけました。また、就業現場風景や会員インタビューを載せるなどし、より身近にシルバーを感じてもらえるよう努力しました。また、発行月の1日に定時発行を実施しました。

年間発行回数…4回（4月・7月・10月・1月）

(2) 事務局だより

会員向けの月刊「事務局だより」は、限られた紙面の中、タイムリーで実用的な情報を掲載し、配分金明細書に同封するとともに、未就業会員の方の為にも各事務所に置くようにしました。

年間発行回数…12回

事業3 研修・講習事業

1. 新入会員接遇研修

センター事業の基本を理解してもらうとともに、就業の際の注意点や接遇の大切さを十分理解してもらう研修会を実施しました。

年間実施回数…12回

対象会員…平成26年度新規入会者 277名

2. 東京しごと財団の就業支援講習会の活用

東京しごと財団が開催した「就業支援講習会」を活用し、会員の技術力の向上、就業拡大を図れるよう、「事務局だより」や地区委員長連絡会等を通じ会員への講習会の参加を呼びかけました。

その結果、パソコン・家事援助サービス・包丁研ぎ・ハウスクリーニング・

襖の張替・毛筆筆耕等の講習会に多数の会員が受講し、成果を上げることができました。

事業4 調査研究事業

平成24年度より4カ年にわたり計画された「公益社団法人品川区シルバー人材センター中期計画」の計画事業具体化のため、就業分野の拡大や就業支援講習会、経営基盤の強化等に取り組みました。

事業5 相談事業

1. 理事による就業相談

お客様発注内容一覧表発行日の毎月第2木曜日にあわせて、午後1時から午後4時まで理事による会員向け就業相談を本部および荏原支部で実施し、会員の就業に結びました。

年…12回

2. 入会出張相談

会員増強の一環として、区民に身近な地域センターにおいて、10地区の委員が出張しセンター事業や入会手続き等について、説明、相談を行いました。

○実施回数 10回 相談者 30名

事業6 安全就業推進事業

1. 安全管理委員会活動の確立と安全管理基本計画、実施計画策定の準備

担当理事と職群班の代表による、安全管理委員会を年4回開催し、年間を通じて安全意識の向上と事故防止対策を実施しました。

2. 安全就業強化月間

安全就業キャンペーンとして、東京しごと財団が7月に設定した「安全就業強化月間」及び11月にセンター独自の取り組みとして「秋の安全就業強化月間」を設け、次の事業を実施しました。

(1) 安全意識啓発パンフレットを2回(7月・11月)就業会員全員に配布しました。

(2) 「事務局だより」や「シルバーしながわ」を活用し、安全就業や就業途上の

事故防止の PR、健康診断受診促進による自己管理の徹底を図りました。また、配分金明細書送付の際に、年 11 回安全に関するチラシを同封し、注意喚起を促しました。

- (3) 地区委員会、地区全体会等において、安全管理委員等が「傷害事故の事例と事故防止」や「安全就業のしおり」を活用し、安全就業の意識の向上を図りました。

また、区内警察による「交通法規改正にともなう注意事項」等（おもに自転車に関する交通安全）の勉強会を行いました。

- (4) 安全標語の垂れ幕を本部・荏原支部・東大井支所・ゆたか支所・大井作業所に掲出しました。
- (5) 自分の運動量が分かり健康維持が出来るようにと「万歩計」を 11 月に実施したヒヤリハットのアンケート回答者や、「身体のバランス測定及び予防体操の講習会」の参加者にも配布しました。
- (6) 転倒による事故防止を図るため、外部講師による「身体のバランス測定及び予防体操の講習会」を品川第一地域センター集会室で実施しました。
- (7) 安全就業（転倒による事故防止や日常の健康管理等含む）に関する標語の募集（応募数 82 点）を行い、6 点を優秀作品として選考し、その表彰を 1 月の理事会で行いました。

3. グッズの配布と自転車総合保険の加入斡旋

- (1) 新入会員を対象に、年間を通じて安全就業用帽子の配布を行いました。
- (2) 熱中症対策として安全グッズ「スーパーネックール」を希望会員へ販売しました。
- (3) 各事務所来訪会員へ夏場の「熱中症対策飴」及び年間通して「のど飴」を配付し、安全就業の呼びかけを行いました。
- (4) 安心して就業できる環境づくりの一環として自転車事故による傷害や賠償に対応できる自転車総合保険の加入を斡旋しました。

保険加入者数 平成 26 年 10 月 1 日 403 人

4. 職群班等の研修と巡回指導

- (1) 安全就業促進のため、職群ごとに行う会合等において、「傷害事故の事例と事故防止」や「安全就業のしおり・パンフレット」を活用し、安全就業の意識の向上を図りました。
- (2) 新規で就業する時に、就業に当たっての注意事項と安全心得 10 ケ条に署名してもらい安全就業に対する意識の啓発を実施しました。

(3) 第4ブロック・東京しごと財団が主催する安全講習会へ役員・会員が参加しました。

(4) 都内での死亡事故が4件発生したことにより、3月3日に東京しごと財団で「緊急事故防止会議」が開催され、事務局長・安全管理委員長が参加しました。

(5) 巡回指導について

安全管理委員会の委員により、就業現場（植木剪定現場、公園清掃、マンション清掃、児童通学確認業務、喫煙マナーアップ啓発事業、駐輪場管理、施設管理業務等）の巡回指導を5月から12月までに7回実施し、危険が予測される事例を参考に業務等の改善を行いました。

5. ヒヤリ・ハットアンケートの実施

会員皆様の協力のもと、いつ・どんな時に・どんな状態でヒヤッとした、ハッとしたというアンケートを11月に実施しました。結果としては、いつ・どんな時については、就業先への往復途上が一番多く、次が就業中という結果になりました。どんな状態ではについては、就業途上では、自転車に関するものが多く、次いで道路上での段差でのつまづきという結果になりました。

就業中は、階段を踏み外しそうになった等ひとつ間違えれば重篤な事故に繋がりがねないものも多数散見されました。

このアンケート結果からお願いしたいことは、次のとおりです。

これからも生涯現役で元気に活躍するためには怪我や事故は大敵です。交差点での事故を防ぐために一時停止をしたり、あわてずに足元をよく確認し、つまづき事故を減らすためにも、あの時ヒヤッとした・ハッとした経験を思い出しながら、今後も健康で元気に就業できるよう取り組んでもらいたいと考えております。

Ⅲ 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営し約 833 万円の実績を上げました。また、国と都の本来の目的である道路の整理・整頓の為、毎日清掃し、不法駐輪・駐車を撤去し環境整備に努めました。

Ⅳ 法人運営（法人会計）

公益法人の機関運営は、会費収入の半額その他で運営することとなっているため、簡素な法人運営に取り組み、定時総会を年 1 回・6 月に開催しました。

1. 平成 26 年度定時総会

開催日時	平成 26 年 6 月 13 日（金）	午後 1 時 30 分～
開催場所	品川区東大井 5 - 18 - 1	きゅりあん（大ホール）
会員数	2,621 名	
出席会員数	1,774 名（内委任状 1,315 名）	
定足数	1,310 名（会員数の 2 分の 1）	
議案		
第 1 号議案	公益社団法人品川区シルバー人材センター 平成 25 年度決算報告	
報告事項	公益社団法人品川区シルバー人材センター 平成 25 年度事業報告	
報告事項	公益社団法人品川区シルバー人材センター 平成 26 年度事業計画及び収支予算書	

2. 理事会

事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、時代や環境の変化に対応した管理と経営を行うために理事会等を開催しました。

理事会 年…11 回開催

三役会 年…11 回開催

2. 会員の状況

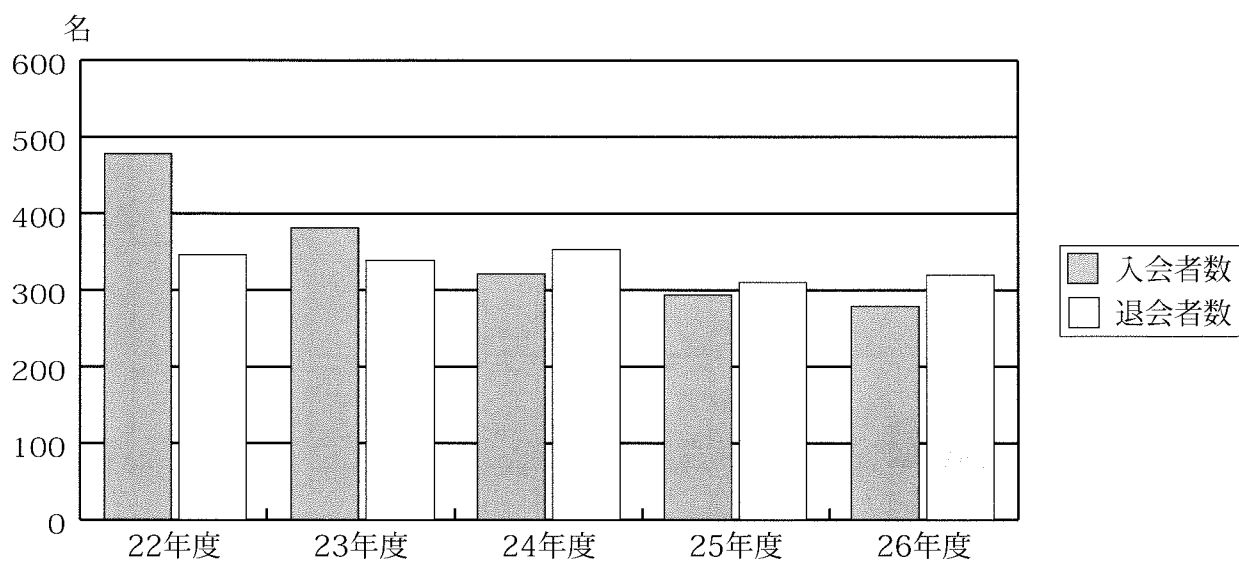
(1) 会員の入退会者数

年月	入会		退会		月末会員数		
	男	女	男	女	男	女	計
26. 4	48	51	62	30	1,492	1,129	2,621
5	18	13	14	5	1,496	1,137	2,633
6	18	9	35	37	1,479	1,109	2,588
7	9	5	5	7	1,483	1,107	2,590
8	12	11	6	1	1,489	1,117	2,606
9	12	9	7	8	1,494	1,118	2,612
10	12	8	5	7	1,501	1,119	2,620
11	15	5	4	0	1,512	1,124	2,636
12	3	2	6	4	1,509	1,122	2,631
27. 1	6	4	4	9	1,511	1,117	2,628
2	4	0	11	14	1,504	1,103	2,607
3	0	3	16	19	1,488	1,087	2,575
合計	157	120	175	141			

退会理由

病	気	80名	就業機会なし	7名
就	職	23名	家庭の事情(介護等)	15名
死	亡	21名	会費未納	62名
転	居	29名	加齢	48名
希望する仕事なし		13名	その他	18名
			合計	316名

(2) 会員の入退会者数の推移（過去5年間）



区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
入会者数	479	384	318	295	277
退会者数	341	335	349	307	316

(3) 会員の年齢別内訳

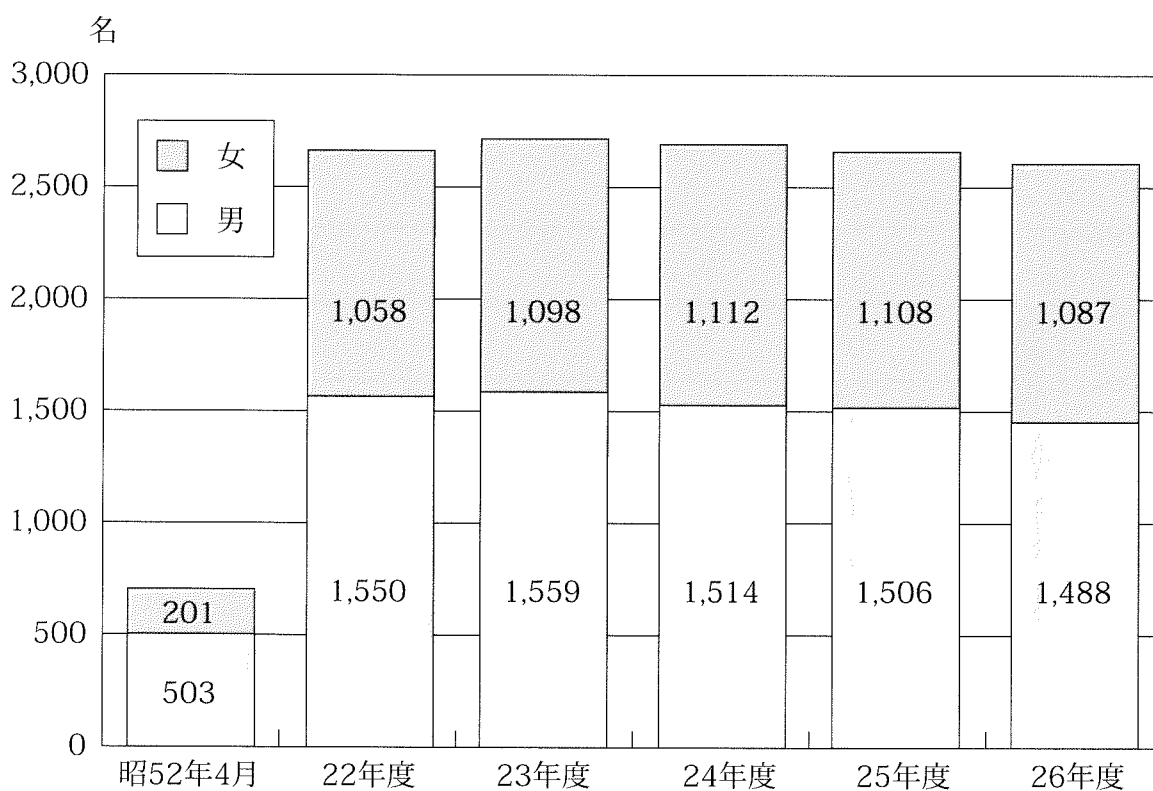
平成27年3月31日現在

	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
男	0	57	267	475	409	280	1,488
女	1	45	216	385	274	166	1,087
計	1	102	483	860	683	446	2,575

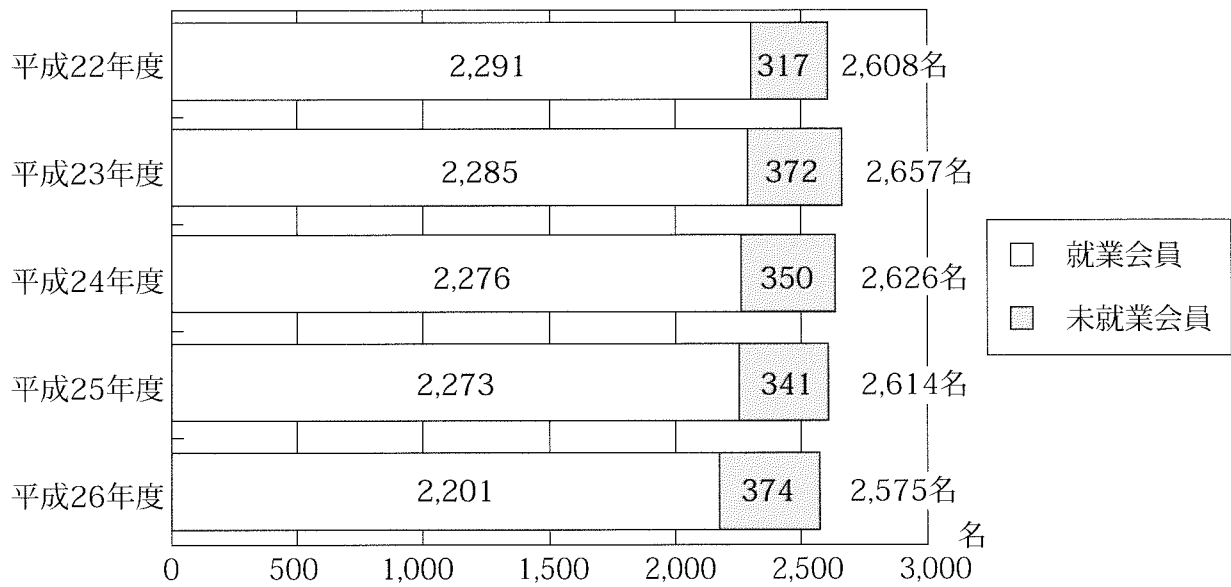
- ・会員の男女比 男性 57.8% 女性 42.2%
- ・平均年齢 男性 74.6歳 女性 73.9歳
- ・最高年齢 男性 96歳 女性 94歳

(4) 会員数の推移

	S52年4月	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
男	503	1,550	1,559	1,514	1,506	1,488
女	201	1,058	1,098	1,112	1,108	1,087
計	704	2,608	2,657	2,626	2,614	2,575



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成22年度	1,766	1,767	1,811	1,813	1,784	1,887	1,810	1,796	1,804	1,815	1,786	1,802	2,291
平成23年度	1,827	1,801	1,843	1,821	1,826	1,894	1,857	1,854	1,837	1,803	1,815	1,803	2,285
平成24年度	1,858	1,875	1,881	1,877	1,875	1,915	1,872	1,894	1,892	1,845	1,841	1,850	2,276
平成25年度	1,897	1,896	1,902	1,906	1,849	1,905	1,858	1,867	1,838	1,831	1,847	1,831	2,273
平成26年度	1,875	1,851	1,862	1,846	1,810	1,856	1,818	1,794	1,779	1,788	1,770	1,765	2,201

3. 事業実績

(1) 平成26年度月別事業実績

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,621	公共	49	1,109	8,253	31,788,784	1,014,577	2,595,659	35,399,020
		民間	1,326	2,306	18,005	67,879,322	787,043	5,576,532	74,242,897
		計	1,375	3,415	26,258	99,668,106	1,801,620	8,172,191	109,641,917
5月	2,633	公共	59	1,115	8,594	31,926,173	908,730	3,173,378	36,008,281
		民間	1,457	2,598	18,701	70,317,181	1,057,838	5,815,111	77,190,130
		計	1,516	3,713	27,295	102,243,354	1,966,568	8,988,489	113,198,411
6月	2,588	公共	45	1,146	8,644	31,476,605	887,142	2,782,655	35,146,402
		民間	1,459	2,304	17,439	67,561,287	842,485	5,906,299	74,310,071
		計	1,504	3,450	26,083	99,037,892	1,729,627	8,688,954	109,456,473
7月	2,590	公共	56	1,067	9,019	31,458,958	1,718,301	2,762,137	35,939,396
		民間	1,528	2,755	19,290	70,668,493	1,041,906	6,063,565	77,773,964
		計	1,584	3,822	28,309	102,127,451	2,760,207	8,825,702	113,713,360
8月	2,606	公共	50	1,346	8,794	31,489,974	944,391	2,622,809	35,057,174
		民間	1,371	2,490	18,160	65,852,161	1,258,078	5,499,346	72,609,585
		計	1,421	3,836	26,954	97,342,135	2,202,469	8,122,155	107,666,759
9月	2,612	公共	48	1,068	8,838	30,100,373	1,108,226	3,490,015	34,698,614
		民間	1,448	2,505	17,422	65,714,602	934,929	5,493,662	72,143,193
		計	1,496	3,573	26,260	95,814,975	2,043,155	8,983,677	106,841,807
10月	2,620	公共	60	1,303	9,450	34,888,943	849,475	3,767,398	39,505,816
		民間	1,557	2,659	17,678	67,536,299	939,931	5,734,039	74,210,269
		計	1,617	3,962	27,128	102,425,242	1,789,406	9,501,437	113,716,085
11月	2,636	公共	54	985	7,731	29,385,699	615,201	3,278,211	33,279,111
		民間	1,453	2,363	16,248	61,521,329	1,062,457	5,113,650	67,697,436
		計	1,507	3,348	23,979	90,907,028	1,677,658	8,391,861	100,976,547
12月	2,631	公共	49	1,281	8,503	35,994,078	1,031,563	3,830,173	40,855,814
		民間	1,420	2,365	17,131	63,261,252	845,922	5,245,830	69,353,004
		計	1,469	3,646	25,634	99,255,330	1,877,485	9,076,003	110,208,818
1月	2,628	公共	51	1,136	7,791	28,322,293	930,076	2,935,758	32,188,127
		民間	1,187	2,136	16,842	57,494,153	612,581	4,670,538	62,777,272
		計	1,238	3,272	24,633	85,816,446	1,542,657	7,606,296	94,965,399
2月	2,607	公共	55	1,140	8,065	29,406,472	919,569	3,236,601	33,562,642
		民間	1,209	2,120	15,637	55,928,277	611,758	4,689,531	61,229,566
		計	1,264	3,260	23,702	85,334,749	1,531,327	7,926,132	94,792,208
3月	2,575	公共	58	987	7,988	29,814,843	1,049,295	2,918,953	33,783,091
		民間	1,305	2,139	17,402	64,586,578	779,785	5,317,246	70,683,609
		計	1,363	3,126	25,390	94,401,421	1,829,080	8,236,199	104,466,700
累 計		公共	634	13,683	101,670	376,053,195	11,976,546	37,393,747	425,423,488
		民間	16,720	28,740	209,955	778,320,934	10,774,713	65,125,349	854,220,996
		計	17,354	42,423	311,625	1,154,374,129	22,751,259	102,519,096	1,279,644,484

(2) 会員の職群別就業実績

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	5,130	19,395,243	5,130	19,395,243	1.7
2.技能群	201	2,064,011	13,132	85,820,326	13,333	87,884,337	7.6
3.事務整理群	3,246	10,503,403	6,367	27,158,225	9,613	37,661,628	3.3
4.管理群	36,547	189,804,948	19,542	85,259,060	56,089	275,064,008	23.8
5.折衝外交群	781	1,375,730	1,559	6,415,582	2,340	7,791,312	0.7
6.軽作業群	27,030	91,380,754	145,414	512,626,949	172,444	604,007,703	52.3
7.サービス群	33,865	80,924,349	18,811	41,645,549	52,676	122,569,898	10.6
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	101,670	376,053,195	209,955	778,320,934	311,625	1,154,374,129	100.0
構成比%	32.6	32.6	67.4	67.4	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

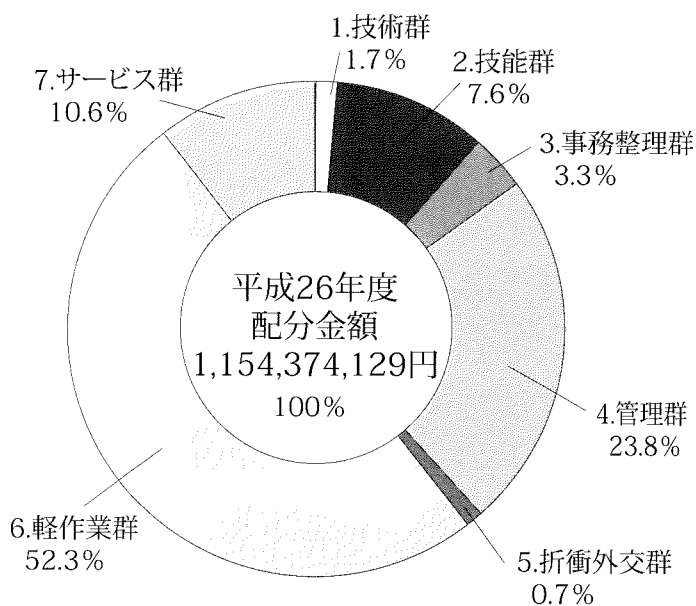
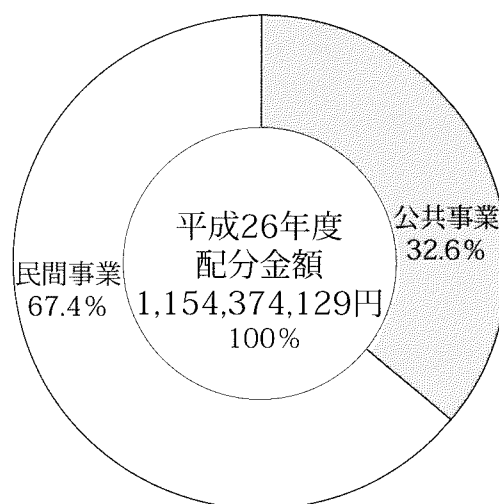


図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）

年度	事業別	委託件数	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公 共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民 間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成22年度	公 共	705	109,692	408,926,236	26,549,594	36,945,028	472,420,858	37.4 : 62.6
	民 間	14,064	203,248	723,232,761	11,807,429	56,657,534	791,697,724	
	計	14,769	312,940	1,132,158,997	38,357,023	93,602,562	1,264,118,582	
平成23年度	公 共	637	106,240	395,129,472	15,632,452	34,079,492	444,841,416	36.2 : 63.8
	民 間	14,864	203,400	713,161,594	14,644,320	55,143,945	782,949,859	
	計	15,501	309,640	1,108,291,066	30,276,772	89,223,437	1,227,791,275	
平成24年度	公 共	647	111,883	408,986,318	18,213,387	37,104,523	464,304,228	35.6 : 64.4
	民 間	16,061	217,495	766,644,035	12,226,490	61,633,514	840,504,039	
	計	16,708	329,378	1,175,630,353	30,439,877	98,738,037	1,304,808,267	
平成25年度	公 共	630	104,197	377,976,075	11,892,128	33,969,126	423,837,329	32.9 : 67.1
	民 間	16,301	29,863	793,243,984	12,362,354	58,588,478	864,194,816	
	計	16,931	134,060	1,171,220,059	24,254,482	92,557,604	1,288,032,145	
平成26年度	公 共	634	101,670	376,053,195	11,976,546	37,393,747	425,423,488	33.2 : 66.8
	民 間	16,720	209,955	778,320,934	10,774,713	65,125,349	854,220,996	
	計	17,354	311,625	1,154,374,129	22,751,259	102,519,096	1,279,644,484	

図－3 各年度別事業実績の推移

